

1号議案

I 基本事業

A・電話相談事業

1. CAPNA ホットライン

登録相談員数：36名

実施日時：月曜日～土曜日 11：00～14：00（年末年始を除く通年）

場 所：CAPNA 相談室

主な内容

- ・年間受信件数： 527 件
- ・虐待に関する相談電話は、全体の約 66%を占めている。
- ・子ども虐待に至る可能性のある育児不安相談は、全体の約 5%である。
- ・過去の被虐待相談が継続、かつ頻回利用者が多い。
- ・稼働相談員数が減少傾向であることが、最大の課題としてある。

2. ピアカンファレンス

実施日時：月に1回 2時間程度（各曜日グループで行う）

場 所：アレックスビル1階会議室

主な内容

- ・電話相談員事業の提案や検討事項などの意見交換
- ・電話相談員としての聴き方や対処方法、不安や疑問を相談し合い、今後の活動に活用
- ・研修会などに参加して得た知識・情報の共有

3. 電話相談員必須研修

テーマ：「精神医療の現場から」

日 時：2022年3月27日（日）13：00～16：00

場 所：アレックスビル・Web

講 師：木下孝一（看護師）

参加者：25名

4. 電話相談員養成講座

- ・募集と応募者

2021年7月11日より「小さい人の笑顔のために」をキャッチフレーズに、第16期子ども虐待防止電話相談スタッフの募集を行った。

養成講座を2021年10月から開催している。

第16期CAPNA相談員養成講座 スケジュール

水；18：30～20：00 土；①13：00～14：30 ②14：45～16：15

月	日	曜日	内容	担当
10	9	土	①開講式(理事長あいさつ)	小出・水野・豊吉・(小久保)
			①CAPNAの歴史とボランティア概論	兼田智彦 (CAPNA 理事)
			②子どもの権利条約	岩城正光 (CAPNA 理事)
10	23	土	①児童虐待概論	山本秀樹 (CAPNA 副理事長)
			②児童虐待の実際	岩城正光 (CAPNA 理事)
11	27	土	①児童相談所の業務と児童虐待への対応	渡邊佐知子 CAPNA 理事)
			②家庭的養護	萬屋育子 (CAPNA 理事)
12	18	土	社会的養護+施設見学 (児童養護施設若松寮)	平井誠敏 (CAPNA 理事)
1	12	水	発達障害と子育て支援	吉田優英 (CAPNA 理事)
	29	土	①児童虐待とDV	小久保裕美 (CAPNA 理事長)
			②児童虐待と精神疾患	木下孝一 (CAPNA 理事)
			※養成講座前半のふりかえりとレポートについて	小出・水野
2	9	水	自殺予防	兼田智彦 (CAPNA 理事)
	26	土	①電話相談概論・CAPNAの電話相談	隈元真理子 (CAPNA 理事)
			②電話相談の実際 (ロールプレイ実習)	前島美津枝 (CAPNA 理事)
3	9	水	メール相談概論	小出砂恵子 (CAPNA 理事)
	26	土	メール相談の実際1 (返信作成作業)	小出砂恵子(CAPNA 理事) (CAPNA メール相談員)

4	16	土	①メール相談の実際2（システムの使い方）	豊吉隆一郎（CAPNA 理事）
			②メール相談の実際3（システム実習）	小出砂恵子(CAPNA 理事) (CAPNA メール相談員)
5	21	土	電話相談ケースカンファレンス ※養成講座のまとめとレポートについて	前島・隈元 小出・水野 小出・水野
6	25	土	認定式（理事長あいさつ）	小出・水野・豊吉・（小久保）
			CAPNA 相談員としてのこれから	

B・CAPNA シェルター事業

- ・6月、10月 国際ソロプチミスト自立支援基金会議 参加
於：イーブル名古屋
- ・6月 名古屋市子ども子育て支援会議 出席 於：イーブル名古屋
- ・9月 名古屋市ドメスティック・バイオレンス懇談会 出席
- ・1月 名古屋市配偶者からの暴力防止および被害者支援基本計画策定に係る懇親会 ZOOM 開催

○2021年度 利用数 3件（大人3名、子ども3名）

利用日数 延べ73日間

	受付先	経路	利用者	内容	判断	支援	支援結果
4月	事務局	機関	母44歳、14歳女	DV・性虐待ケース	該当	利用	33日間
5月	事務局	機関	21歳女	性虐待ケース	該当	利用	15日間
5月	事務局	機関	19歳女	虐待ケース	該当	利用せず	
9月	事務局	警察	35歳女（夫婦共髒唾）	DVケース	該当	利用せず	
10月	事務局	機関	18歳女（高校生）	虐待ケース	該当	利用せず	

11月	事務局	機関	32歳女・2歳児	虐待ケース	該当	利用せず	
1月	事務局	機関	母(外国人)、子(神奈川県)	DVケース	該当	利用せず	
1月	事務局	機関	母、5歳女、3歳男	DVケース	該当	利用	25日間
3月	事務局	機関	母(外国人)、子	DVケース	該当	利用せず	
3月	事務局	機関	母、祖母、子2名	DVケース	該当	利用せず	

C・愛知県・名古屋市との協働

各市町・要保護児童地域対策協議会・サポート連絡協議会への出席

愛知県 稲沢市 犬山市 清須市 岡崎市

豊田市子どもにやさしいまちづくり委員 愛知県児童虐待予防対策委員会

名古屋市 千種区 東区 北区 西区 中村区 中区 昭和区 瑞穂区
熱田区 中川区 港区 南区 守山区 緑区 名東区 天白区

その他連携

- ・名古屋市子ども子育て支援会議
- ・愛知県社会福祉審議会
- ・名古屋市DV防止懇談会
- ・全国養子縁組団体協議会
- ・子どもの家庭養育推進官民会議
- ・シェルター連絡協議会

※ 名古屋市児童相談所との協定を再締結

D・広報・啓発事業

1 会報誌の発行

第103号(4月)、第104号(8月)、第105号(12月)

2 各種イベントへの参加

- ・在日米商工会議所 チャリティウォークソンへの出展

日 時：オンライン開催 2021年5月

内 容：子ども虐待防止に関する広報活動

・スマイルこころの絆創膏デー2021 オンラインイベントの参加

日 時：オンライン開催 2021年12月

内 容：若者向け自殺対策イベント

・チャリティウォークソン寄付金贈呈式への参加

日 時：2021年11月2日

会 場：名古屋国際学園

・こころの健康フェスタなごや2022 「話してみよう、こころの健康」

日 時：オンライン開催 2020年2月18日～3月21日配信

内 容：メンタルヘルスに関する社会資源の広報に関するイベント

ゲスト：眞鍋かをり

精神科医：藤野智哉

ゲートキーパー：山本秀樹(CAPNA 副理事長)

3 ホームページ

年数回ホームページを更新し、広く市民へ情報を発信した。

E・講師派遣事業

1・主 催：春日井市 こんにちは赤ちゃん訪問フォローアップ研修

・日 時：2021年12月22日 10:15～11:30

・場 所：総合保険医療センター 母子保健室

・テーマ：児童虐待について

・講 師：小久保 裕美

・対 象：50名

2・主 催：一宮市要保護児童対策地域協議会

・日 時：2021年11月11日 14:00～

・テーマ：児童虐待防止について

・講 師：山本 秀樹

・対 象：250名

F・メール相談事業

民間ネットワークとの連携事業

(CAPNA・せんだいCHAP・子ども虐待防止みやぎきの会)

- ・通年の事業としてスタッフ 21 名で実施
- ・年間受信件数 1,269 件
- ・メール相談は受信件数が増えていて、電話相談が苦手だったり、かけたい時間に利用できなかつたりなどの理由が見受けられる。10代を中心とする若者にとって、メールは日常生活と切り離せないものであり、自分の心のSOSを手軽に発信できるツールでもある。また、ネット社会のコミュニケーションツールとして、海外から寄せられる相談もある。

Ⅱ 委託事業

G・愛知県・名古屋市との連携強化事業

愛知県児童虐待防止対策セミナー（第1回）

(1) 実施日：2021年8月24日～8月30日まで7日間

(2) 参加人員：396人

(3) 実施状況 Web研修会

- ・テーマ：「精神疾患を抱える保護者のもとで暮らす子どもへの支援と課題」
- ・講師：土田 幸子氏
(鈴鹿医療科学大学 看護学科 准教授)

- ・内容：児童虐待対応の現場では、保護者が精神疾患を抱える家庭を支援することもあり、保護者への丁寧な支援とともに、その家庭で暮らす子どもが抱える困難や課題に対する適切な理解と支援が、児童虐待の防止・早期対応、子どもの最善のケアにつながる重要な取り組みとなる。

支援者がこうした課題に対する理解を深めるとともに、基本的な知識やスキルを身につける内容を取り上げた。

愛知県児童虐待防止対策セミナー（第2回）

(1) 実施日：2021年11月17日～11月24日まで8日間

(2) 参加人員：270人

(3) 実施状況 Web研修会

- ・テーマ：「DVと児童虐待」
- ・講師：和田 芳子氏

(元東京都女性相談センター所長、牧師)

- ・内 容：家庭内での配偶者間暴力が子どもの面前で行われることによる心理的虐待が大きな問題になっており、児童虐待対応件数の増加の主要因となっている。DV と児童虐待の支援には多機関が緊密に連携しながら母子の安全確保から自立までの家庭を途切れなく行っていくことが必要である。
様々な困難や課題に対する理解を深めるとともに、基本的な知識やスキルを身につける内容を取り上げた。

名古屋市児童虐待防止研修会（第1回）

- （1）実施日：2021年5月26日～6月3日まで9日間
- （2）参加人員：324人
- （3）実施状況 Web 研修会
 - ・テーマ：「児童虐待防止の基礎 ～子どもの権利擁護～」
 - ・講師：粕田 陽子氏
(弁護士)
 - ・内 容：5月は名古屋市が条例で定める児童虐待防止推進月間。
児童虐待防止の基礎として、児童福祉法・児童虐待防止法の改正ポイントや子どもの権利擁護について、お話いただいた。

名古屋市児童虐待防止研修会（第2回）

- （1）実施日：2022年2月7日～2月21日まで15日間
- （2）参加人員：361人
- （3）実施状況 Web 研修会
 - ・テーマ：「子ども虐待とこころの後遺症 ～児童精神科の現場より～」
 - ・講師：古橋 功一氏
(独立行政法人国立病院機構尾張病院 児童精神科部長)
 - ・内 容：虐待による子どものこころへの影響や、専門的な医療を必要とする場合に、どのような治療を行うのか等をお話いただいた。後遺症にある子どもたちへの理解の基礎となる「トラウマインフォームドケア」について取り上げ、支援者として地域に戻る子どもたちと、どのように向き合えばよいかを学んだ。

H・名古屋市から委託を受けている土日祝日専用の電話相談事業

- （1）目的：公的機関の閉庁日にDV 被害者から電話相談を受け、早期に適切な援助を行い、閉庁日も継続した支援を図るものです。

- (2) 実施日：土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の午前 10 時から午後 6 時まで。ただし、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日を除く
- (3) 相談体制：専用電話を設置し相談実施日に専任職員 2 名を配置
- (4) 相談実施日：117 日間

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
受信件数	22	16	14	32	21	28	19	17	14	12	28	26	249 件

I・名古屋市 DV 被害者 SNS 相談事業

- (1) 目的：DV 被害者が確実に支援を受けられるよう、相談につながりやすくする取組として SNS を活用した相談を実施する。
- (2) 相談実施日：2021 年 7 月 7 日～2022 年 3 月 31 日
週 2 回、1 日 5 時間
- (3) 相談体制：1 回あたり相談員 2 名配置

J・名古屋市こころの健康（夜間・土日）無料相談事業

- (1) 目的：うつ病や精神疾患等を抱える利用者に悩みの解決に向けた支援や情報の提供などを行い、自殺の防止を図る。
- (2) 実施方法：名古屋市内中心部での面接を行うための電話受付・面接補助を行う。
- (3) 処理内容、件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
受信件数	110	142	95	82	87	152	106	105	117	115	106	188	1,405 件
面談実施回数	6	4	6	6	5	6	5	6	5	6	6	6	67 回

K・うつ病家族教室の開催

- (1) 実施日：2021 年 11 月 6 日 13:00～17:30
- (2) 参加人員：参加者 33 人

(3) 会 場:名古屋市総合社会福祉会館大会議室

(4) 実施状況

・内 容:講演 1 テーマ:「うつ病を理解する」

・講 師: 桑 和彦氏

(名古屋市立大学 大学院薬学研究科教授、医師)

講演 2 テーマ:「うつ病と付き合い」

・講 師: 庭野 智美氏

(訪問看護ステーション ちいず 訪問看護師)

「家族交流会」木下 孝一氏

(訪問看護ステーション ともいき 訪問看護師)

L・新型コロナウイルスこころのケア相談事業

(1) 目 的 : 新型コロナウイルス感染症による経済活動や社会生活への影響が拡大している状況を踏まえ、相談体制の強化を目的として平日の時間外において専用の電話相談窓口を設置し、精神保健上の支援(心のケア)を実施する。

(2) 相談実施日: 月曜から金曜までの午後 5 時から午後 10 時まで

(3) 相談体制 : 専用電話回線を設置し、相談実施日に職員 1 名を配置。

(4) 相談件数 : 612 件

Ⅲ 助成金事業

M・赤い羽根共同募金配分事業

1 電話相談およびメール相談事業

・電話・メール相談員を養成、虐待に悩む市民からの相談に応じた。

(10回)

・電話・メール相談員の研修を行い、スキルの向上とケアを行った。

(10回)

・電話・メール相談員のための研修として、ケースカンファレンスや情報共有のためのオンライン会議を開催した。

2 市民講座

安全委員会方式研修会

(1) 実施日: 1 日目 2021 年 9 月 8 日~9 月 12 日まで 5 日間

2日目 2021年9月15日～9月19日まで5日間

(2) 参加人員：100人

(3) 実施状況 Web研修会

- ・テーマ：「子どもたちに安心・安全な暮らしを」
- ・内容：CAPNAは児童養護施設、一時保護所等の暴力、性暴力に真摯に向き合い、子どもたちにいつでもどこでも安心安全の場を保障したいと願い、暴力を絶対に許さない社会を作っていくことを目指している。児童養護施設におけるあらゆる暴力をなくしていくためには、暴力とは何かを考え、暴力に適切に対応・予防できる手法として「安全委員会方式」について2回に渡り研修を実施した。

IV その他事業

N・あいちDV被害者支援団体ネットワーク

- 1 実施日：2021年9月10日 13：30～17：00
 - 2 会場：イーブルなごや視聴覚室
 - 3 参加人員：54人
 - 4 実施状況
 - ・テーマ：「民間DV被害者支援施設の実状を知る 2021」
 - ・内容：1部 各団体の紹介
 - 2部 「DV対策の今後の在り方」～被害者に係わる国の動き～
- 講師：可児 康則氏
(弁護士)

0・直接支援委員会

- 1 目的・活動内容

CAPNAに電話相談・メール相談は入った具体的な虐待ケース等に直接、具体的な虐待ケース等に直接関わり、関係機関との連携による虐待防止活動を実践することを目的とする。児童虐待対応の専門家チームで構成されている。対応内容や方法はチーム会議を経て決定し、主に相談・訪問などを中心とした活動である。
- 2 実施：通年
- 3 件数：7件